

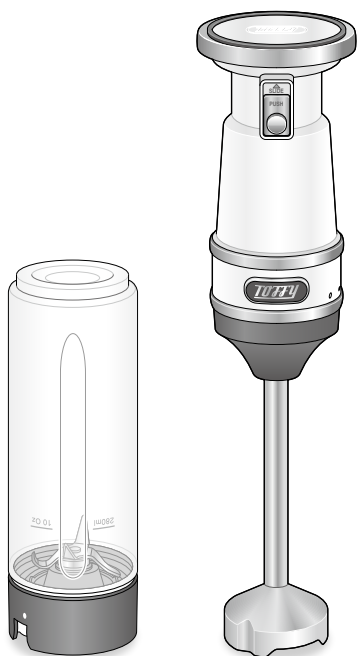
# TOFFY ハンド&ボトルブレンダー

品番：K-BD3

## 家庭用

### もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部の名称	6
ご使用の前に	8
ハンドブレンダーの使い方	10
ボトルブレンダーの使い方	14
お手入れのしかた	18
故障かなと思ったら	21
製品仕様	24



## ユーザーズガイド


このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。  
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。


# LADONNA

# 安全上のご注意


## ●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）


本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

 **警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。


 **注意** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

## ●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

 してはいけない「禁止」内容です。

 必ず実行していただきたい「強制」内容です。

## ■電源プラグ・電源コードについて

 **ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。**

感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものに乗せたり、挟み込んだりしない。

火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因となります。

 **交流 100V・定格 15A のコンセントを単独で使用する。**

他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。


感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取る。


ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜く。


感電やショートの原因となります。

 **使用后、電源コードを本体に巻き付けない。**

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

 **使用時以外は、電源プラグをコンセントからはずす。**

火災・故障の原因となります。

 **部品の取り付け、取りはずし時は、電源プラグをコンセントから抜く。**

感電・けがの原因となります。

電源コードはすべてほどいて使用する。

電源コードを束ねたまま使用すると、重なった部分が熱を持ち、火災の原因となります。

警告

注意

## ■ 取り扱いについて



**分解・改造はしない。**  
火災・感電・けがの原因となります。

**本体や各接続部の隙間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。**

異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

**子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用したりしない。**

感電・けがの原因となります。

**本体や各接続部を水につけたり、水をかけたりしない。**

ショート・感電・火災の原因となります。



**ブレードが回転している間は、調理中の容器を移動したり、ブレードを容器の外に出したり、手、へらなどでブレードに触れたりしない。**

けが・故障の原因となります。

**ブレード、カッターに直接触れない。**

けがの原因となります。



**異常時（発煙など）はただちに使用を中止し、電源プラグを抜く。**

火災・感電の原因となります。



**本製品は一般家庭用のため業務用として使用しない。**

火災・故障の原因となります。

**使用中は本体を移動させない。**

けが・故障の原因となります。

**破損や変形があるときは絶対に使用しない。**

感電・けが・故障の原因となります。

**落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない。**

けが・感電・破損・故障の原因となります。

**不安定・滑りやすい場所や水気・振動に弱いところで使用しない。**

けが・故障の原因となります。

**40℃以上の熱い食材を調理しない。**

**食材は常温に冷ましてから使用する。**

やけど・破損・故障の原因となります。



**各部品を冷凍庫に入れたり、電子レンジ、オーブンなどに入れて加熱しない。**

けが・破損の原因となります。

**調理以外に使用しない。**

けが・故障の原因となります。

**専用部品以外は使用しない。**

けが・故障の原因となります。

**ぬれた手で使用・操作しない。**

ショート・感電・故障の原因となります。

**割れる恐れがある容器を使用しない。**

けが・容器の破損の原因となります。  
(10 ページ)

**壁や家具などの近くで使用しない。**

液体が多い材料をかくはんするときは、勢いよくかき混ぜたり、液面より上で使用したりすると、飛び散ることがあります。周囲を汚損する原因となります。

**加熱調理中の鍋の中で使用しない。**

思わぬ事故の原因となります。



注意

# 安全上のご注意 (続き)



注意



1 回の使用時間の合計は定格時間 (1 分) 以内にする。1 分を超えてご使用になった場合は 30 分以上休ませたあと、再度使用する。

発火・故障の原因となります。

使用中に本体が異常に熱くなったり、異臭がしたりした場合は、ただちに使用を中止し、電源プラグを抜き、30 分以上休ませたあと、再度使用する。

発火・故障の原因となります。

カッターホルダー・ボトルふたにそれぞれパッキンを取り付けて使用する。

液もれ・故障の原因となります。



カッターホルダーにパッキンを取り付けたり、取りはずしたりするときは、カッターでパッキンを傷つけないように注意する。

パッキンの破損・液もれの原因となります。

ボトルを持ち運ぶときは、中の飲み物がこぼれないようにボトルふたをしっかりと締める。

液もれ・ものを汚す原因となります。

ボトルは必ず立てた状態で持ち運ぶ。

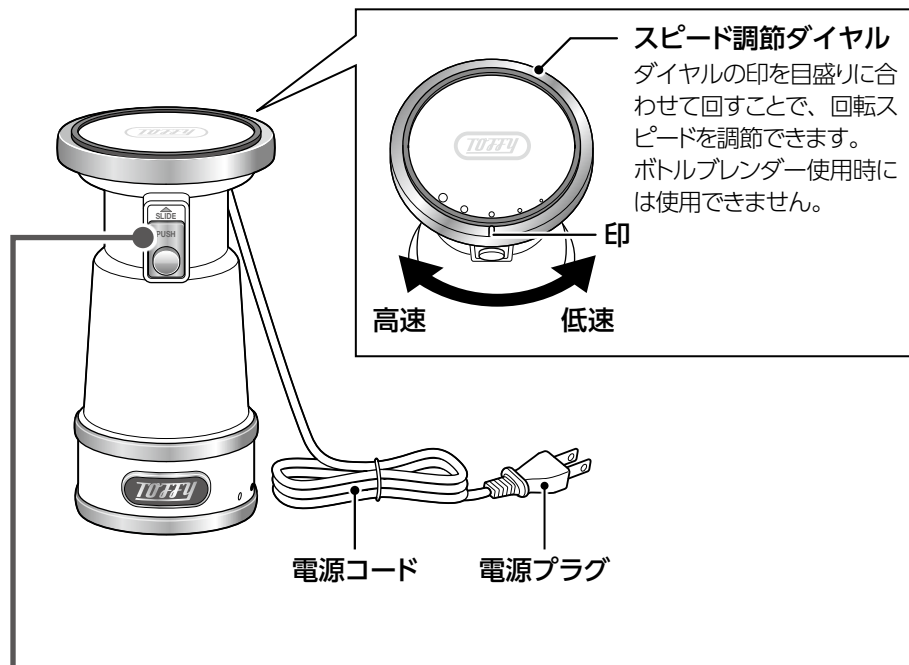
横にすると液もれ・ものを汚す原因となります。

# 使用上のご注意

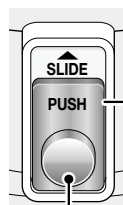
- **材料がブレード／カッターにからまったときは運転を停止してください。**  
そのまま運転を続けると、故障の原因となります。
- **ブレード／カッターの切れ味が悪くなったり、刃に傷や損傷を見つけた場合は使用をやめ、新しいものと交換してください。**  
以下の部品が消耗品として交換可能です。  
・ハンドブレンダーアタッチメント ・カッターホルダー ・パッキン
- **温度の高いところや火気のあるところ、直射日光が当たるところでは使用・保管しないでください。**  
故障・変形の原因となります。
- **お手入れをするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは使用しないでください。**  
傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。
- **空運転（材料がないまま運転）はしないでください。**  
故障・破損の原因となります。
- **調理できない材料を使わないでください。**  
故障・破損の原因となります。調理できない材料は以下を参照ください。  
ハンドブレンダー：10 ページ ボトルブレンダー：14 ページ
- **調理後の部品は十分にお手入れして乾燥させてください。**  
部品をそのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。
- **水洗いできる部分に、40℃以上のお湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機などを使用したりしないでください。**  
変色・変形・劣化や破損などの原因となります。
- **アタッチメントを付けずに電源プラグをコンセントに差し込まないでください。**  
破損・故障の原因となります。
- **屋外で使用しないでください。**  
故障の原因となります。
- **ハンドブレンダー使用時には、直径 11cm 以上の容器を使用してください。**  
小さい容器を使用すると、モーターやカップリングが過熱し、故障・発煙の原因となります。
- **ボトルブレンダー使用時には、ボトルの上限ライン（280ml）を超える量の材料を入れないでください。**  
故障・破損の原因となります。
- **ボトルブレンダー使用時には、カッターの回転が止まったことを確認してから、電源プラグを抜き、ボトルブレンダーアタッチメントを本体から取りはずしてください。**  
回転中にボトルブレンダーアタッチメントをはずすと、カッターホルダーと本体のカップリングが削れ、破損や故障の原因となります。
- **調理物の入ったボトルを、カッターホルダーが取り付けられたまま保存しないでください。**  
部品の劣化・故障の原因となります。

# 各部の名称

## ● 本体



## ● ハンドブレンダー操作部 (ボトルブレンダー使用時には使用できません)



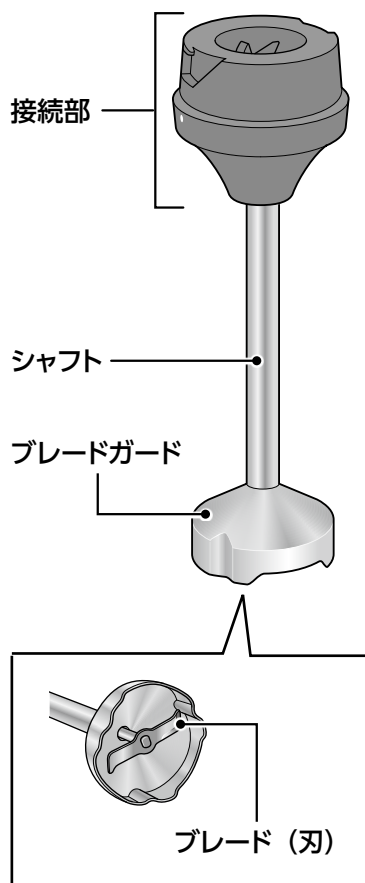
運転スイッチ

<使い方>

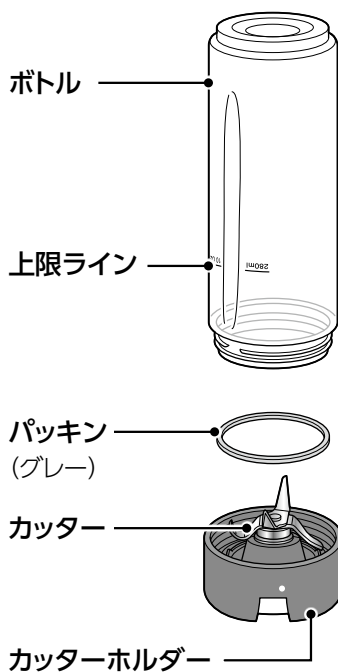
- ① 運転スイッチを上スライドさせながら、
- ② 運転ボタンを押すと運転します。

運転ボタン

● ハンドブレンダーアタッチメント

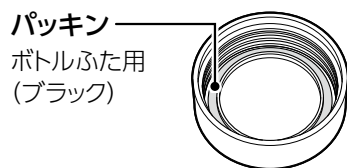


● ボトルブレンダーアタッチメント



付属品

● ボトルふた



● パッキン用スティック



# ご使用前に

はじめてご使用になるとき、または長い間ご使用していなかったときは

---

お手入れしてください。

- お手入れのしかたは 18、19、20 ページをご確認ください。

## 安全装置の働きについて

---

本製品には、モーターの過熱を防ぐため、自動的に電源が切れる安全装置が搭載されています。定格時間（1分）以上連続使用して、モーターが過熱すると、この機能が働いて電源が切れます。

定格時間は動作時間の合計です。例えば、20秒間の使用を10秒おきに繰り返した場合、3回の使用で合計1分になります。

**お願い** 本体が停止したときは、以下の手順に従ってください。

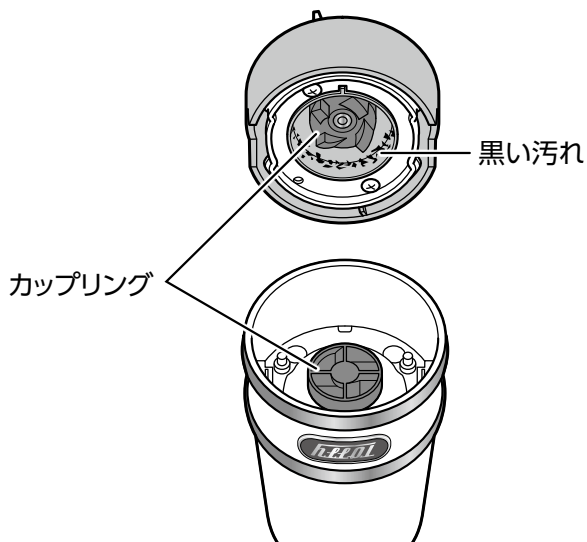
- ① 電源プラグをコンセントから抜く。
- ② ハンドブレンダーアタッチメント／ボトルブレンダーアタッチメントを本体からはずす。
- ③ 本体を30分以上、自然冷却する。



## カップリングについて

本製品のハンドブレンダーアタッチメントとカッターホルダーのカップリングはゴム製です。ご使用中に摩耗し、カップリングのまわりに黒い粉が付着することがありますが異常ではありません\*。

※ 黒い汚れは運転中に押し出された水分と回転部軸の潤滑油です。



汚れが目立つ場合は、乾いた布などで拭き取ってください。

また、以下の状態で使い続けると、カップリングの摩耗が進んでカップリング同士が滑り、ゴムが削れて飛散することがあります（発火による煙ではありません）。正しい状態でお使いください。

- 本体のカップリングと正しく接合されていない状態
- 長期間にわたる過負荷状態

# ハンドブレンダーの使い方

## 食材の下準備

- 食材は約 2 ～ 3cm 角（固い食材は 1cm 角）に切ってください。
- 柿など固い種子がある場合は、取り除いてください。
- 調理直後の食材は、あら熱がとれるまで冷ましてください。

## 調理できない食材

下記の食材を入れると、破損や故障の原因となります。

- 氷
- 冷凍した食材 ※ 半解凍または解凍してからご使用ください。
- 粘り気の強い食材（山いも、長いも、とろいもなど）
- 肉・魚類
- 泡立てやパンなどの生地作りの食材
- 固いもの（コーヒー豆、生のじゃがいも・さつまいも・かぼちゃなど）  
※ 固いもの類はゆでるなどしてやわらかくし、水分を加えてからご使用ください。
- 乾物（パルメザンチーズ、朝鮮人参、ウコン、ごま、煮干し、アーモンド、乾燥昆布、香辛料など）
- 水分が少ないもの ※ 水分を加えてからご使用ください。
- 繊維が多いもの

## 容器について

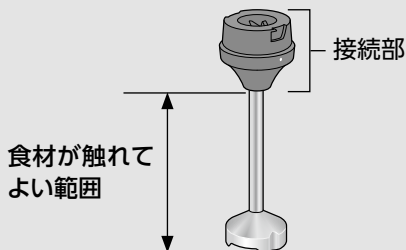
### 容器の大きさ

- ブレードガードが引っかからず、直径 11cm 以上のもの
- ハンドブレンダーを運転したときに、食材がこぼれたり飛び散ったりしない程度の深さのもの

### 容器の材質

○ 使えるもの	金属やプラスチック製のボウル・鍋
× 使えないもの	● ガラス製の容器（耐熱性・強化ガラスを含む） ● 陶器、磁器製などの割れやすい容器

- ハンドブレンダーアタッチメントを容器に入れたときに接続部に食材がかからないようご注意ください。  
食材の深さ 3cm 程度が調理しやすい量です。



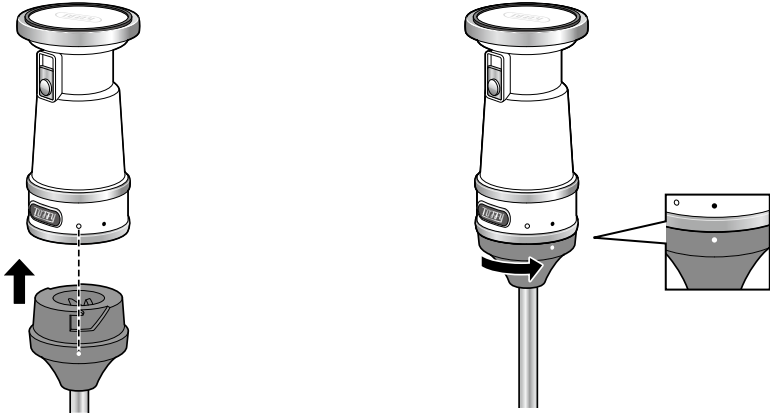
## 1 下準備した食材を容器に入れます。

食材がシャフトを超えないよう量を調整してください。

## 2 本体にハンドブレンダーアタッチメントを取り付けます。

① 本体の「○マーク」にハンドブレンダーアタッチメントの「●マーク」を合わせて差し込みます。

② ハンドブレンダーアタッチメントの「●マーク」を本体の「●マーク」に合うまで回してロックします。



ハンドブレンダーアタッチメントと本体の取り付けが不十分な場合は、破損の原因となります。



**注意**

- ハンドブレンダーアタッチメントの取り付けは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ブレードに直接触れないでください。  
けがの原因となります。

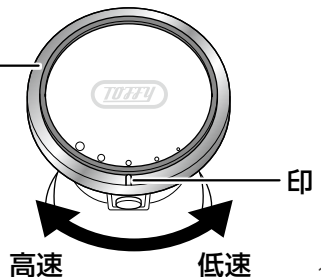
## 3 スピード調節ダイヤルを回して回転速度を設定します。

- 高速で調理する場合は、運転開始時はブレードの回転速度は遅くして、徐々に回転速度を上げてください。

スピード調節ダイヤル

ダイヤルの印を目盛りに合わせて回すことで、回転速度を調節できます。

- 高速：固めの材料
- 低速：やわらかめの材料



# ハンドブレンダーの使い方（続き）

## 4 電源プラグをコンセントに差し込みます。



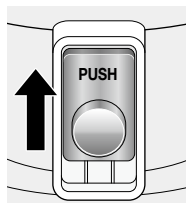
**警告**

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となります。

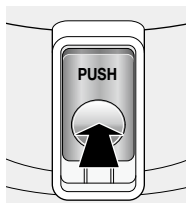
## 5 ブレードを食材に押し当て、調理を開始します。

### 運転方法

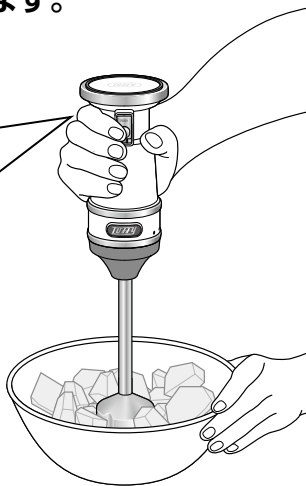
① ハンドブレンダー  
運転スイッチを上  
スライドさせる。



② そのまま運転  
ボタンを押す。



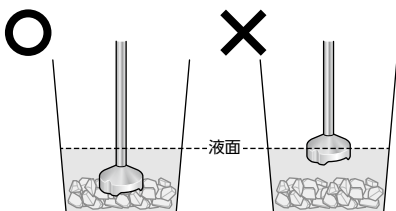
運転ボタンを押している間だけ、ブレードが回転します。



● ハンドブレンダーは容器に対してまっすぐに入れてください。

● 容器が動かないよう、しっかりと支えてください。

● 運転中に勢いよくかき混ぜたり、ブレードガードを食材の液面より上に持ち上げたりしないでください。食材が飛び散る恐れがあります。



● ハンドブレンダーアタッチメントが容器の調理物に吸い付き、動かしにくいときは一度運転ボタンから指を離して、食材に当て直し、再度運転してください。

## ⚠ 注意

- 加熱調理中の鍋の中では使わないでください。  
やけどの原因となります。
- 使用中に鍋や容器の底を傷つけないように注意してください。
- 1回の使用時間の合計は定格時間（1分）以内にしてください。1分を超えてご使用になった場合は30分以上休ませたあと、再度使用してください。  
発火・故障の原因となります。  
定格時間は動作時間の合計です。例えば、20秒間の使用を10秒おきに繰り返した場合、3回の使用で合計1分になります。

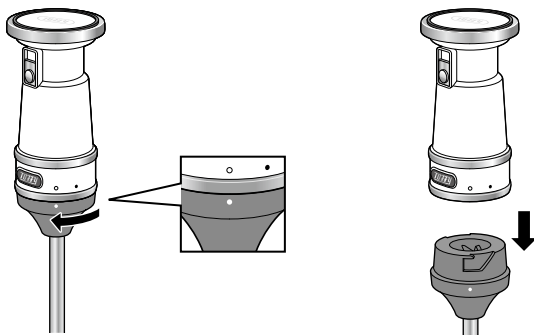
## 6 調理が終わったら、運転スイッチから指を離し、回転を止めます。

- ブレードの回転が止まったことを確認してから、ブレードを調理物から出してください。回転したままだと調理物が飛び散る恐れがあります。
- ブレードについての調理物は市販の幅の狭いゴムベラなどを使って取り除いてください。

## 7 電源プラグをコンセントから抜き、 ハンドブレンダーアタッチメントを取りはずします。

使用後は毎回お手入れをしてください。

- ① ハンドブレンダーアタッチメントの「●マーク」を本体の「○マーク」に合うまで回します。
- ② ハンドブレンダーアタッチメントを取りはずします。



## ⚠ 注意

ハンドブレンダーアタッチメントをはずすときは、ブレードに直接触れないようにご注意ください。  
けがの原因となります。

# ボトルブレンダーの使い方

## 食材の下準備

- 食材は約 2 ～ 3cm 角（固い食材は 1cm 角）に切ってください。
- 柿など固い種子がある場合は、取り除いてください。
- 調理直後の食材は、あら熱がとれるまで冷ましてください。

## 調理できない食材

下記の食材を入れると、破損や故障の原因となります。

- ロックアイス（市販の氷）、業務用製氷機で作った氷
- 家庭用の冷凍庫で作った約 2cm 角以上の角氷
- 冷凍した食材 ※ 半解凍または解凍してからご使用ください。
- 肉・魚類
- 泡立てやパンなどの生地作りの食材
- 固いもの（コーヒー豆、生のさつまいも・かぼちゃなど）  
※ 固いもの類はゆでるなどしてやわらかくし、水分を加えてからご使用ください。

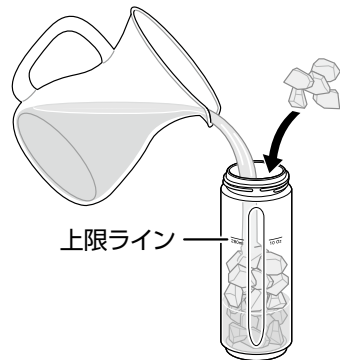
### 1 下準備した食材をボトルに入れます。

食材は以下の順番で入れてください。

- ① 角氷（必要な場合、30g まで）
- ② 水分の少ない固めの食材（りんご・にんじんなど）
- ③ 葉物野菜
- ④ 水分の多いやわらかめの食材（柑橘類など）
- ⑤ 液体

※ 角氷は粉碎できますが、氷の破片が残る場合があります。

※ 40℃以上の食材は入れないでください。

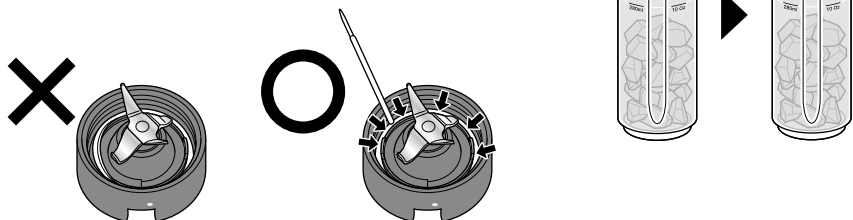


### お願い

- 下記の食材は、水や牛乳など、必ず液体と一緒に入れてください。固形物と液体の割合は 1:2 または液体を多めにしてください。
  - ・粘り気の強い食材（山いも、長いも、とろいも、はちみつなど）
  - ・乾物（朝鮮人参、ウコン、ごま、ごぼうなど）
  - ・水分が少ないもの
- 氷だけの粉碎には使用しないでください。破損・故障の原因となります。
- ボトルの上限ラインを超えた量の食材を入れしないでください。

## 2 カッターホルダーを時計回りに回してボトルに取り付けます。

- 取り付ける前にパッキンがカッターホルダーの溝に隙間や浮きがなく取り付けられていることを確認してください。(20 ページ)  
隙間や浮きがある場合は、下図のようにパッキン用スティックを使って上から押さえてください。

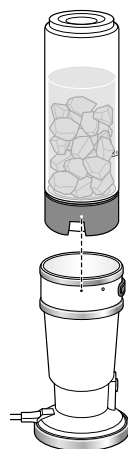


- 中身がもれないようにカッターホルダーはしっかりと締め付けてください。

## 3 本体を安定した水平な場所に置き、ボトルブレンダーアタッチメントをのせます。

カッターホルダーの「●マーク」と本体上部の「●マーク」を合わせるようにしてのせます。

※ ボトルブレンダー使用時にはスピード調節ダイヤルは使用できません。



## 4 電源プラグをコンセントに差し込みます。

まだボトルブレンダーアタッチメントには触れないでください。  
本体を押し込んだ状態でコンセントに差し込むと作動します。

# ボトルブレンダーの使い方（続き）

## 5 ボトルブレンダーアタッチメントを垂直に押して調理します。

ボトルブレンダーアタッチメントを押しているときのみ作動します。  
手を離すと停止します。

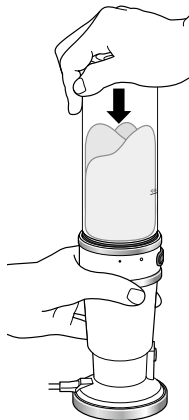
**連続運転：押し続ける**

**パルス運転：約 1 秒押す—離すを繰り返す**

※ ハンドブレンダー操作部は使用できません。

※ はじめにパルス運転を数回行い、材料を粉砕してから連続運転をすとうまくかくはんできます。

※ カッターが空回りしているときは、ボトルブレンダーアタッチメントを本体からはずし、ボトルブレンダーアタッチメントを軽く振るなどして食材を下に落としてください。



### お願い

● 動作させるときは、ボトルブレンダーアタッチメント全体を真上から押してください。

ボトルブレンダーアタッチメント上の角を押ししたり、斜めから押ししたりするとカップリングがかみ合わず、故障・破損の原因となります。

● 空運転（材料がないまま運転）はしないでください。

故障・破損の原因となります。

● 材料が大きすぎるとカッターが回転しないことがあります。その場合は材料を小さく切って入れ直してください。

● 回転中にボトルブレンダーアタッチメントを本体からはずさないでください。故障・破損の原因となります。

● 1 回の使用時間の合計は定格時間（1 分）以内にしてください。1 分を超えてご使用になった場合は 30 分以上休ませたあと、再度使用してください。

発火・故障の原因となります。

定格時間は動作時間の合計です。例えば、20 秒間の使用を 10 秒おきに繰り返した場合、3 回の使用で合計 1 分になります。

## 6 調理が終わったら、ボトルブレンダーアタッチメントから手を離し、回転を止めます。

## 7 カッターの回転が止まったことを確認してから、電源プラグを抜き、ボトルブレンダーアタッチメントを本体から取りはずします。

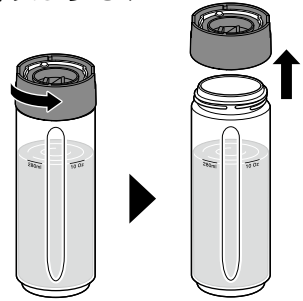
コンセントにつないだままにしておくこと誤操作によるけがなどの原因となります。



**8** カッターホルダーを反時計回りに回して取りはずし、調理物を取り出します。

調理後そのままにしておくと、ボトルやカッターホルダーについた汚れが取れにくくなり、カッターなどに悪影響があります（お手入れについては18ページを参照してください）。

使用後は毎回お手入れをしてください。

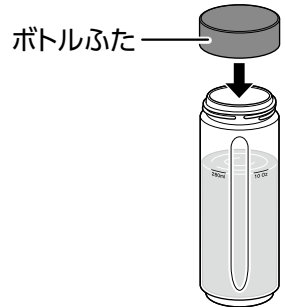


**注意**

カッターホルダーをはずすときは、カッターに直接触れないようにご注意ください。  
けがの原因となります。

保存・持ち運びの際はボトルふたをご使用ください。

- 取り付ける前にパッキン（ブラック）がボトルふたの溝に隙間や浮きがなく取り付けられていることを確認してください。  
隙間や浮きがある場合は、パッキン用スティックを使って上から押さえてください。
- 中身がもれないようにボトルふたはしっかりと締め付けてください。



# お手入れのしかた

安全にお使いいただくために、ご使用後は毎回お手入れしてください。

## ⚠ 注意

- 本体に直接水をかけたり、水に沈めたりしないでください。  
やけど・火災・故障の原因となります。
- ブレードやカッターには触れないよう十分に注意して洗ってください。

## 🙏 お願い

- 本製品のお手入れに、食器用洗剤以外の洗剤や研磨剤を含む洗剤、シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは使用しないでください。  
傷がついたり、変色したりする原因となります。
- 部品を 40℃以上の熱湯で洗ったり、食器洗浄機、食器乾燥機などを使ったりしないでください。  
変形・破損の原因となります。

## 本体

汚れたときは湿らせた布で拭きます。

長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。

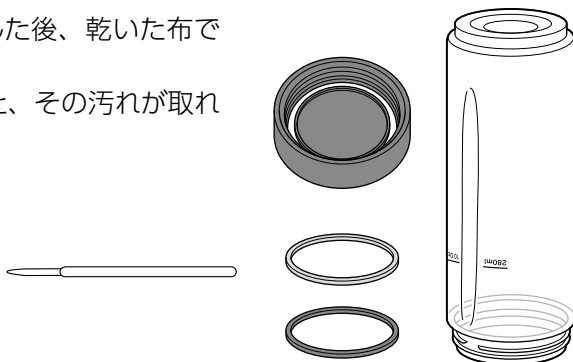
## ⚠ 注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 感電・ショート・やけど・火災の原因となります。

## ボトル、ボトルふた、パッキン用スティック、パッキン（グレー・ブラック）

柔らかなスポンジに、食器用洗剤をうすめた水を含ませて洗います。

- ボトルはにんじん、葉菜類の色素がボトルに付着して変色することがあります。  
使用後は早めにお手入れください。
- 洗浄後は、流水で洗剤を流した後、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 汚れなどそのままにしておくと、その汚れが取れなくなることがあります。



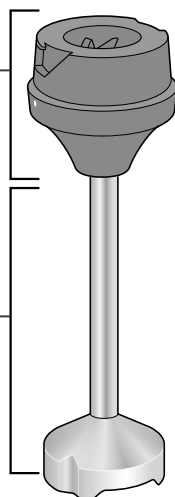
## ハンドブレンダーアタッチメント

### 接続部（水洗い不可です）

湿らせたやわらかい布で汚れを拭き取ります。直接水がかからないようご注意ください。内部に水が入ってしまったときは、よく水をきり、水分を拭き取ってください。

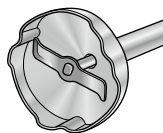
### 先端部（水洗い可能です）

スポンジに食器用洗剤をつけて洗います。洗浄後は、流水で洗剤を流した後、乾いた布で水分を拭き取ってください。



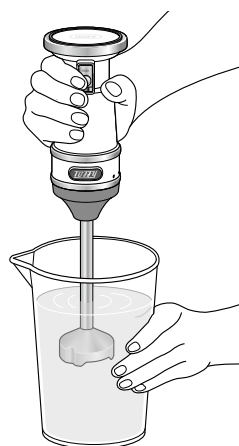
### ブレードガード内側

柄のついたブラシに食器用洗剤をつけて洗います。洗浄後は、流水で洗剤を流した後、乾いた布で水分を拭き取ってください。



### 汚れが落ちにくいときは

- ① 深めの容器に水またはぬるま湯と食器用洗剤を少量入れます。
- ② ブレードを容器に入れ、パルス運転を 10 回ほど繰り返します。



**注意**

- 接続部に直接水をかけないでください。やけど・火災・故障の原因となります。
- ブレードに直接触れないでください。けがの原因となります。

# お手入れのしかた (続き)

## カッターホルダー

パッキンを取りはずし、食器用洗剤とブラシを使って洗います。

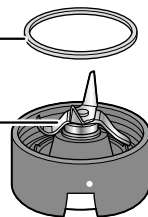


**注意**

カッターに直接触れないでください。  
けがの原因となります。

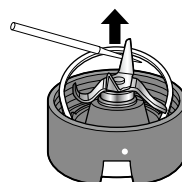
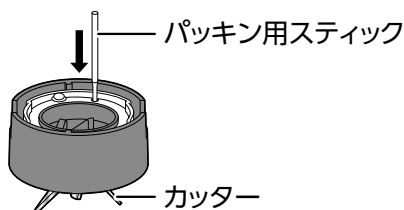
パッキン(グレー) ———

カッター ———  
柄のついたブラシ  
に食器用洗剤をつ  
けて洗います。



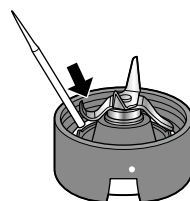
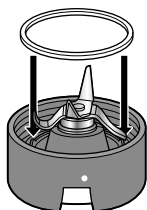
## ■ パッキンの取りはずし方法

- ① カッターホルダーの穴からパッキン用スティックを差し込み、パッキンを押し下げます。
- ② パッキン用スティックでパッキンをすくい上げるように取りはずします。



## ■ パッキンの取り付け方法

- ① パッキンをカッターホルダーの溝に差し込みます。
- ② パッキン用スティックでパッキンを上から押しながら、カッターホルダーに取り付けます。



## お願い

- パッキンは隙間や浮いているところがないようしっかりと取り付けられているか確認してください。  
液もれの原因となります。
- カッターホルダーにパッキンを取り付けたり、取りはずしたりするときは、カッターでパッキンを傷つけないようご注意ください。  
パッキンの破損、液もれの原因となります。

# 故障かなと思ったら

故障かなと思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

## ■ハンドブレンダー

こんなとき	原因	対処方法
動作しない	電源プラグが正しくコンセントに取り付けられていない	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
	運転ボタンが正しく押されていない	運転スイッチを上スライドさせながら、運転ボタンを押してください。 → 12 ページ
	ハンドブレンダーアタッチメントが正しく取り付けられていない	アタッチメントの「●マーク」と本体の「●マーク」が正しく合わせられているか確認してください。 → 11 ページ
回転が遅い	ブレードガード内に食材がからまっている	電源プラグをコンセントから抜き、市販の幅の狭いゴムベラなどで、からまった食材を取り除いてください。
	食材が多すぎる	食材を減らしてください。
	食材が大きすぎる	食材を小さく切ってください。
	調理できない食材を使用している	調理できない食材を取り除いてください。 → 10 ページ
	回転スピードが合っていない	スピード調節ダイヤルを回して回転スピードを調節してください。
本体が熱い	定格時間 1 分を超えて使っている	定格時間 1 分以上使用しないでください。 1 分を超えてご使用になった場合は、本体を 30 分以上休ませてください。
途中で止まる、異常音がする	ブレードガード内に食材がからまっている	電源プラグをコンセントから抜き、市販の幅の狭いゴムベラなどで、からまった食材を取り除いてください。
	食材が大きすぎる	食材を小さく切ってください。
	定格時間 1 分を超えて使っている	本体を 30 分以上休ませてください。
食材があふれる	容器が浅い	食材を深い容器に移してください。
ブレードが空回転する	食材が少なすぎる	食材を増やしてください。
	ブレードが食材に当たっていない	ブレードを食材にまっすぐ押し当てて運転してください。

# 故障かなと思ったら (続き)

## ■ ボトルブレンダー

こんなとき	原因	対処方法
ボトルブレンダーアタッチメントをセットし、上から押しでも動作しない	電源プラグが正しくコンセントに取り付けられていない	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
	ボトルブレンダーアタッチメントが本体の正しい位置にのせられていない	正しい位置にのせてください。 → 15 ページ
モーターの動いている音がするが調理できない・調理時間が長い・振動が大きい	食材が多すぎる	食材がボトルの上限ラインを超えないよう量を減らしてください。 → 14 ページ
	食材が大きすぎる	食材を小さく切ってください。
	調理できない食材を使用している	調理できない食材を取り除いてください。 → 14 ページ
	水分が少なすぎる	液体を足してください。
材料があふれる	食材が多すぎる	食材がボトルの上限ラインを超えないよう量を減らしてください。 → 14 ページ
カッターが空回転する	食材が少なすぎる	食材を増やしてください。
	水分が少なすぎる	液体を足してください。
	カッターに食材がからまっている	ボトルブレンダーアタッチメントを本体からはずし、軽く振るなどして、食材を下へ落としてください。
途中で止まる	食材が大きすぎる	食材を小さく切ってください。
	調理できない食材を使用している	調理できない食材を取り除いてください。 → 14 ページ
	定格時間 1 分を超えて使っている	本体を 30 分以上休ませてください。
本体が熱い	定格時間 1 分を超えて使っている	定格時間 1 分以上使用しないでください。 1 分を超えてご使用になった場合は、本体を 30 分以上休ませてください。

こんなとき	原因	対処方法
材料がうまく混ざらない	食材が多すぎる	食材が上限ラインを超えないよう量を減らしてください。 → 14 ページ
	食材が大きすぎる	食材を小さく切ってください。
	調理時間が短すぎる	調理時間を長くしてください。 はじめにパルス運転を数回行き、食材を粉碎してから連続運転をすると、うまくかくはんできます。 → 16 ページ
	水分が少なすぎる	液体を足してください。
	調理できない食材を使用している	調理できない食材を取り除いてください。 → 14 ページ
調理物がもれる	パッキンが正しく取り付けられていない	隙間や浮いているところなどがないようにしっかりと上から押さえ、パッキンの溝に取り付けられているか確認してください。 → 20 ページ
	カッターホルダーがボトルにしっかりと取り付けられていない	正しく取り付けてください。
	パッキンが破損している	新しいものと交換してください。

## 長期間で使用のハンド&ボトルブレンダーは定期的な点検をお願いします

- 電源コードが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷などがある。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ブレード/カッターの破損、刃こぼれ、ヒビ割れなどがある。
- そのほか異常や故障がある。



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

## お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。  
受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

### 個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

# 製品仕様

品名	Toffy ハンド&ボトルブレンダー		
品番	K-BD3		
本体寸法	約Φ80(W)×340(H)mm (ハンドブレンダー使用時) 約Φ80(W)×300(H)mm (ボトルブレンダー使用時)		
重量	約 565g (ハンドブレンダー使用時)		
定格容量	280ml (ボトルブレンダー使用時)		
回転数 (無負荷時)	約 15,000 回 / 分 (ハンドブレンダー使用時) ※回転スピード「最高速」設定時 約 20,500 回 / 分 (ボトルブレンダー使用時)		
電源	AC100V 50-60Hz	付属品	ハンドブレンダーアタッチメント、 ボトルブレンダーアタッチメント、 ボトルふた、パッキン用スティック、 レシピブック×1冊、 ユーザーズガイド (保証書含む)
定格消費電力	200W		
電源コード長	約 0.8m		
定格時間	1 分		
生産国	中国		

※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※ 「Toffy」は、(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。